

# 協働の森フォーラム

森が  
つながる  
地方と都市の  
新しい関係。

木の活用を通じた  
地方と都市の持続的な  
発展に向けて

高知県の豊富な森林資源を「森林吸収源」だけでなく、地方にとっての「産業振興」「地域活性化」、企業にとっての「社会貢献」の新たな展開について、それぞれどうつなげていくか、様々な事例を織り交ぜながら、共に考えていきます。

【開催日時】

平成26年8月30日(土)  
13:30~17:00 (開場12:30)

【開催場所】

高知市総合あんしんセンター 3階会議室  
高知市丸ノ内1丁目7-45

【プログラム】

13:30 開会あいさつ(高知県知事、高知市長)

感謝状贈呈(5企業)

14:00 基調講演 | 弓崎経営コンサルティング・オフィス

14:40 休憩 | 弓崎 伸彦代表

15:00 パネルディスカッション

17:00 閉会

【パネリスト】

- (株)オンワードホールディングス  
情報・環境経営部 環境経営課  
小林 秀夫 課長
- コクヨ(株) 本社統括部  
CSR・環境グループ 齊藤 申一 課長
- (一社)more trees (モア・トゥリーズ)  
水谷 伸吉 事務局長
- 高知県知事 尾崎 正直

協働の森づくり事業とは？ 環境先進企業の皆様、市町村及び高知県が協働して、手入れの行き届かない状況となっている森林の再生や地元住民と企業の皆様との交流を通じた地域の活性化を進めようとするものです。これまで、延べ60の企業・団体と協定を締結しています。

主催：高知県 共催：高知市

【お問合せ】 高知県林業振興・環境部 林業環境政策課

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7-52 Tel:088-821-4586 Fax:088-821-4576

人が森を助ける。  
森が人を助ける。



基調講演講師・ディスカッションコーディネーター



profile

弓崎経営コンサルティング・オフィス代表 弓崎 伸彦

1953年生まれ。愛媛県出身。東京大学文学部西洋史学科卒業後、川鉄商事(株)を経て、(株)富士総合研究所(現みずほ情報総研(株))に入社。

長年、上場企業のコンサルティングに携わり、近年は、環境と経営の視点からの大手企業のコンサルティングや経済産業省を中心に公的機関の調査提案及び施策実現の支援を行う。経済産業省所管の専門委員会の委員としても多数参加している。

現在は、個人コンサルタントとして活躍中。「ひろしま産業振興機構 創業マネージャー」や「愛媛県先進環境ビジネス研究会 顧問」として、地域の産業振興や環境ビジネスなども支援している。

高知県との関係では、県内のデザイン事務所と連携し、間伐材を活用した「間伐仮囲い」の企画提案なども行っている。専門分野は、企業経理財務、経営戦略、事業戦略、新規事業戦略、IT戦略等。

パネルディスカッション・パネリスト



株式会社オンワードホールディングス  
情報・環境経営部 環境経営課長

小林 秀夫

高知市との協定

自社の企画・販売商品のリユース、リサイクルに積極的に取り組むとともに、環境配慮型の商品の開発、物流における環境配慮、業務の省エネルギー化などをグループ全体で一体的に取り組んでいる。

また、「環境に優しい経営をPRしたい」との思いから、環境提案型の店舗で使用するハンガー(約1万本)から休憩用丸太イス(15脚)、レジカウンターに至るまで、全て高知県産材を使用している。

2008年に協働の森の協定を締結し、高知市の協定林「土佐山オンワード”虹の森”」において、年2回、新入社員研修を兼ねた交流活動を行っている。



コクヨグループ コクヨ株式会社  
本社統括部 CSR・環境グループ 課長

齊藤 申一

四万十町との協定

「単に森林を保全するだけでなく、森林を守る地元も活性化する『仕組み』をつくること」に力を入れており、FSC(森林管理協議会)のFM(森林管理)認証を受けた四万十森林組合の木

を積極的に利用するとともに、コクヨグループ自らもFSCのCoC(加工・流通管理)認証を受け、結の森の森林保全、製品開発、情報発信などを行っている。

2006年に四万十町で「コクヨー四万十・結の森プロジェクト」をスタートさせ、2007年に協働の森づくり事業のパートナーズ協定を締結。地元の高校生と合同で四万十川流域の清流度調査や間伐後の効果を検証する植生調査などの独自の取組を展開している。



一般社団法人 more trees(モア・トゥリーズ)  
事務局長

水谷 伸吉

中土佐町、梶原町との協定

「都市と森をつなぐ」をテーマに2007年に設立された森林保全団体。様々な林産物を森の恵みと捉え、その恵みを都市側に伝え、巻き込むことで都市と山村との接着剤の役割を

果たしている。

橋渡しする森の恵みは地域材に限らず、カーボンオフセットやシカ革、ミツロウ、ツーリズムなど多岐にわたっており、都市のライフスタイルに受け入れられやすいデザインやブランディングも併せて行なう。また、地域材はキッチン用品、雑貨、家具からオフィスや店舗の内装まで、幅広い用途を提案している。

なお、今回更新する梶原町との協定は、協定期間が20年間とこれまでで最長。



高知県知事

尾崎 正直

2007年、高知県知事に就任し、現在2期目。企業・団体の皆さまと協働の森づくりパートナーズ協定を締結し、森づくりを通じた環境保護・地域振興の取り組みを推進している。

CSR活動の見える化として「CO2吸収証書」の発行や環境省のオフセット・クレジット(J-VER)制度、また、高知県版のJ-クレジット制度の導入など、環境先進県(トップランナー)としての取組を企業の皆様とともに全国に発信している。

また、日本一の森林率(84%)である高知県の豊富な森林資源を余すことなく活用していくため、バイオマス発電やCLTの普及など新たな木材需要の創出に繋がる取組を全国のトップランナーとして進めている。



【会場へのアクセス】

高知駅から車で10分 高知県庁西庁舎 北隣り  
グランド通電停(電車通り)から北へ徒歩約5分

【お問合せ】高知県林業振興・環境部 林業環境政策課

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7-52 Tel:088-821-4586 Fax:088-821-4576

〈敬称略〉

人が森を助ける。  
森が人を助ける。

